



こうごしま 議会だより

No. 166

平成 27 年 11 月 27 日 発行／神津島村議会 編集／議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
 議会だより編集委員会 委員長 中村親夫 副委員長 山岸義光 委員 鈴木国忠 委員 清水勝彦
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp

●●● 村議会傍聴のご案内 ●●●

議員の活動や、村政方針及び考え方を知ることが出来る場、それが本議会です。
神津島村議会は皆様の傍聴をお待ちしております



神津島 2015 村民大運動会

目 次

- ◇ 平成 27 年第 3 回定例会 (9 月 9 日から 30 日までの会期) 2
 人事案件 1 件、契約関係 2 件、平成 27 年度補正予算 6 件
 平成 26 年度決算認定 6 件、地方公共団体財政健全化に関する法律に伴う報告 1 件
- ◇ 平成 27 年第 2 回臨時会 (7 月 17 日) 4
 契約関係 1 件
- ◇ 平成 27 年第 3 回臨時会 (9 月 17 日) 4
 契約関係 1 件
- ◇ その他 4
 議会コラム、議会日誌、編集後記、他

平成27年第3回定例村議会

◎同意第4号「神津島村教育委員会委員の任命について」
 村長（浜川謙夫君）教育委員会委員として松江美千代氏を選任するもの。

《原案同意》

◎議案第47号「生きがい健康センター改修工事請負契約」
 福祉課長（藤井小百合君）生きがい健康センター改修工事を行い、主に建築確認未取得による是正改修工事と経年劣化による空調設備及び防水改修工事を行うもの。

1番（山岸義光君）空調設備の改修だが、塩害等の被害や経済的な面で設計をされたのか。
 福祉課長 既存の設備を取りかえるということが基本。この改修工事が限界と考えている。これ以上細分化するのであればもっと費用がかかる。

6番（松江孝雄君）室外機の塩害対策は。設備は重耐塩仕様と福祉課長 設備は重耐塩仕様とした。

《原案可決》

◎議案第48号「新規安定型最終処分場造成工事請負契約」
 環境衛生課長（桜井隆明君）新規埋立処分場の整備を行うもの。

6番 暗渠の排水路は埋め込んでしまうのか。環境衛生課長 工事をするため

の仮設排水管になる。最終的に全部埋まった時点で開削する。
 6番 平成28年度に造成の工事はあるのか。環境衛生課長 平成28年度には造成工事はない。

《原案可決》

◎議案第49号「新清掃センター整備に係る測量・地質・設計等業務委託請負契約の変更」
 環境衛生課長 本業務委託は、新清掃センターの整備に係る測量調査、地質調査、生活環境調査、土壌汚染調査、敷地造成基本設計・実施設計の5つの委託により構成されており、その中の環境影響調査の内容の一部を追加するもの。

◎議案第50号「平成27年度東京都神津島村一般会計補正予算（第2号）」
 企画財政課長（鈴木龍也君）歳入歳出それぞれ1億2千6百23万5千円を追加するもの。
 5番（石田高道君）小学校屋内運動場非構造部材耐震補強工事の補正について説明を。
 教育課長（前田幸子君）当初にあったのは、体育館の中の天井の改修工事。今回の補正は軒どいの部分と外壁の改修部分。
 企画財政課長 補助金を申請することを前提として、予算取りは補助対象事業として編成して

《原案可決》

いる。万が一補助対象にならない場合にも児童の安全を確保するという観点から単費事業でも計上する。
 2番（鈴木国忠君）歳入の地方交付税。前年度に比べ大幅な増だが、人口減少対策というのは単年度だけのものか。
 企画財政課長 傾向としては、単年度で終わるといふことはない。

1番 粗大ごみ処理燃料費、役務費の清掃センター運搬費の補正だが、追加の金額が当初予算よりも多かつたり、非常に似たような金額になった説明を。
 環境衛生課長 破砕処理場のバックホーを新しくしたことによるもの。また、炉の温度を上げたことによる重油の消費量の増が主な要因。
 2番 村道菊若線道路測量設計委託。中学校の水路の終点から開発センターの石積みを取り壊すことになるのかどうか。
 建設課長（石田修治君）開発センターの西側の石積みだが、取り壊しをして、給食センターの前を真っすぐ行くような形をとる。

2番 中学校と開発センターの間の水路はどんな扱いになるのか。
 建設課長 村道として認定をする。
 2番 水路上が村道として認定できるものなのか。また、過去の話だが暫定的にこの水路を通して、道路ができた時は、ここは閉鎖しますという事になっているが。

3番（清水勝彦君）便宜上やむを得ないから道路として使いたいよということ、かなりもめた経緯がある。当時のPTAからも陳情、要望があったがどう考えているか。
 村長（浜川謙夫君）現状の水路を使用させてもらって、菊若線もつなぎ込んで村道とつなぎ合わせるという現状が一番いい考えではないかなというふうに思っている。
 現状、使っていることを最優先としたい。
 6番 農道柑が沢線道路新設工事追加分の内容を。
 建設課長 伐採木の処置が主なもの。全て島外搬出をすることとなったため。
 4番（中村親夫君）文書広報費の委託料、情報通信利用環境整備事業設計業務委託に関する説明を。
 総務課長（清水 豊君）光ブロードバンドの導入に係る委託料。平成28年度から4カ年で各島の整備を実施するもの。
 4番 島内の再整備の内容は。総務課長 国が行う海底ケーブルと並行した形で行う。NNTと庁舎までを幹線部分で結び、各一般家庭に分配するものを整備する。

2番 社会教育費。委託料と工事請負費だが、場所は旧学校給食センターか。
 教育課長 精査した結果、旧給食調理場ではなく、小学校の保健室を考えている。

◎議案第51号「平成27年度東

《原案可決》

京都神津島村簡易水道特別会計補正予算（第1号）」
 環境衛生課長 歳入歳出それぞれ3百12万1千円を追加するもの。

1番 水質検査等に係る運搬費と書いてあるが、水質検査は、定期的に行われているものなのか。
 環境衛生課長 定期的に行っている。

《原案可決》

◎議案第52号「平成27年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」
 福祉課長 事業勘定は歳入歳出それぞれ3千9百2万円を追加するもの。
 保健医療課長 直診勘定は歳入歳出それぞれ9百80万7千円を追加するもの。
 6番 高額医療費共同事業医療費拠出金で負担金補助及交付金を追加しているが、この試算は年度末までを試算したものか。
 福祉課長 試算予定額で通知が来ており、それをもとに計上したが、今後、補正を要することも想定される。

1番 特殊建築物定期調査委託料、去年やっているということか。
 保健医療課長 そのとおり。
 1番 使用料及賃借料で公用車駐車場使用料だが、月1万円の駐車料金なのか。
 保健医療課長 2台分で5千円ずつの使用料。

◎議案第53号「平成27年度東

京都神津島村農業集落排水特

《原案可決》

【別会計補正予算(第1号)】
 環境衛生課長 歳入歳出それぞれ6百9万1千円を追加するもの。

6番 需用費、修繕費追加の説
 明を。

環境衛生課長 微細目スクリーンのオーバーホールやプロアのオーバーホール、その他突発的な修繕に対応するためのもの。

《原案可決》

◎議案第54号「平成27年度東
 京都神津島村介護保険事業特
 別会計補正予算(第1号)」

福祉課長 歳入歳出それぞれ1千5百9万4千円を追加するもの。

1番 在宅サービスと施設サービス給付金が減額ですが、利用者が減ったということか。

《原案可決》

福祉課長 介護保険法の改正により施設の介護給付費がマイナス改定となったためのもの。

4番 居宅介護住宅改修費、負担金補助及交付金の追加。実績と今後の見通しを。

福祉課長 現在3名で46万700円ほど改修済み。今後、今のところ3名を予定している。

《原案可決》

◎議案第55号「平成27年度東
 京都神津島村後期高齢者医療
 特別会計補正予算(第1号)」

福祉課長 歳入歳出それぞれ7百9万3千円を追加するもの。

《原案可決》

◎認定第1号「平成26年度東
 京都神津島村一般会計歳入歳
 出決算の認定」

6番 法人の滞納金徴収分。徴収のための通知はされているのか。

企画財政課長 通知を行った上で、さらに特別徴収を行うという形で、自宅の訪問も何度も行っている。

6番 固定資産税の滞納繰越分、不納欠損額が増えた要因を。企画財政課長 増えた要因としては、地元の法人1社及び個人が金額的に2名、新規で不納欠損しており、その分が増えた要因。

3番 企画費の報酬の不用額。有効的に使って、もっと回数を増やしては。

企画財政課長 必要性を勘案しながら協議したい。

《一般会計原案認定》

◎認定第2号平成26年度東
 京都神津島村簡易水道特別会計
 歳入歳出決算の認定

◎認定第3号平成26年度東
 京都神津島村国民健康保険特別
 会計歳入歳出決算の認定

◎認定第4号平成26年度東
 京都神津島村農業集落排水特別
 会計歳入歳出決算の認定

◎認定第5号平成26年度東
 京都神津島村介護保険事業特別
 会計歳入歳出決算の認定

◎認定第6号平成26年度東
 京都神津島村後期高齢者医療特
 別会計歳入歳出決算の認定
 (認定第2号、認定第6号の上程)

《特別会計原案認定》

◎地方公共団体財政健全化に
 関する法律に伴う報告

代表監査委員(鈴木幸俊君)

神津島における健全化判断比率及び資金不足比率・その他比率収支等、適正であると認める。

村長 監査委員から財政健全化比率は適正であると認めていた。実質赤字比率、連結赤字比率については当面赤字決算になる懸念はない。実質公債費比率、将来負担比率については、今後予定されているごみ処理施設整備事業、特養ホーム、大規模改修事業に伴う償還金額の増加、それから地方交付税の減少により比率の上昇が予測されている。また、今後10年以内には小学校の建て替え等を計画せざるを得ない状況にある。これらに伴う財政負担、それから起債の負担は多くなってくると思

っている。今後は地方交付税の変動についても視野に入れていかなければならない。より一層の歳入財源の確保、経常経費の削減に努めていかなければならない。

◎発議第2号「地方税財源の
 拡充に関する意見書」

《賛成挙手全員》
 決議書は議長より関係機関へ提出。

4番 中村親夫議員
 ◎神津島農協の支援策について

4番 平成26年の第4回定例会
 で、JA神津島支店廃店後の営
 農支援策として、農協の再建を
 図るべきと考え、村長の所見を

伺った。現在において、神津島農協の具体的な支援策は固まつてきたのか。新農協の組織、事業内容、事業規模はどうなのか。農協支援策の現状について村長に伺う。

村長 平成26年度の第4回定例会でも答弁しているとおり、平成27年度、予算資料が提出される10月末から11月に、懸案事項を上げていただきたいと答弁している。今後、設立準備委員会の事業計画の確定後、具体的な施策を協議していきたいと思

っている。新農協の設立については、既に6月16日から第1回の発起人会を開いて、先般、9月7日の第7回までに、組合員たる資格等を各世帯に対する出資金のお願い回り、そして新農協への協力体制の取りまとめ、事業計画の策定と、今後、10月に定款の諸規定の策定も設立準備委員会が公示、公に付されるまで、新組織の内容は確定していません。設立準備委員会の決定を受けてからの話となっている。

4番 事業内容、事業規模はまだ確定していないようですが、今後、発起人会、設立準備委員

会の中で支援策を講じていければと考える。つけ加えるが農協支援策については、経営コンサルタント的な見方で問題となっ

た点を洗い出し、それらを改善していく、そのような視点で捉え支援策を講じていくのが重要と考える。

◎観光協会の支援策について

4番 観光は村の主産業であり、観光客の多寡は村の経済(旅館、民宿、商店、飲食店等)に大きな影響を与えることは言うまでもない。観光協会の組織については、人事面では、正職員2名、実質的なアルバイトが2名である。観光協会の事業については、独自で開発したツアー、鳥スーブの開発、ゆるキャラ「かんむりん」の政策を実施している。ホームページの充実、ブログの更新等、内外に神津島をPRしており、ホームページの閲覧数も増えている。繁忙期においては、村の総合案内所化しており、窓口業務、電話対応等厳しい状況があり、組織の充実を図るために正職員3人体制が必要と考える。観光立島として、観光協会職員を3名体制にするために、村が補助金の増額や地域おこし協力隊を活用するなどの支援を図るべきと考え

る。村長の所見を伺う。

村長 観光協会の事業に対する取り組みは大変評価している。しかしながら村は団体組織の職員人件費を補助することはしない。人件費は、非営利組織とはいえ、組織経営の根幹をなすものであり、内部協議していただければと思

っている。地域おこし協力隊については、村嘱託職員として、観光振興関連活動と観光資源を活用した各イベントの企画立案を実施させるために村が募集した者である。島内の観光資源を活用し

て、観光協会職員を3名体制にするために、村が補助金の増額や地域おこし協力隊を活用するなどの支援を図るべきと考えるが、村長の所見を伺う。

村長 観光協会の事業に対する取り組みは大変評価している。しかしながら村は団体組織の職員人件費を補助することはしない。人件費は、非営利組織とはいえ、組織経営の根幹をなすものであり、内部協議していただければと思

っている。地域おこし協力隊については、村嘱託職員として、観光振興関連活動と観光資源を活用した各イベントの企画立案を実施させるために村が募集した者である。島内の観光資源を活用し

て、観光協会職員を3名体制にするために、村が補助金の増額や地域おこし協力隊を活用するなどの支援を図るべきと考えるが、村長の所見を伺う。

村長 観光協会の事業に対する取り組みは大変評価している。しかしながら村は団体組織の職員人件費を補助することはしない。人件費は、非営利組織とはいえ、組織経営の根幹をなすものであり、内部協議していただければと思

っている。地域おこし協力隊については、村嘱託職員として、観光振興関連活動と観光資源を活用した各イベントの企画立案を実施させるために村が募集した者である。島内の観光資源を活用し

て、観光協会職員を3名体制にするために、村が補助金の増額や地域おこし協力隊を活用するなどの支援を図るべきと考えるが、村長の所見を伺う。

村長 観光協会の事業に対する取り組みは大変評価している。しかしながら村は団体組織の職員人件費を補助することはしない。人件費は、非営利組織とはいえ、組織経営の根幹をなすものであり、内部協議していただければと思

っている。地域おこし協力隊については、村嘱託職員として、観光振興関連活動と観光資源を活用した各イベントの企画立案を実施させるために村が募集した者である。島内の観光資源を活用し

一般質問

た観光産業の振興と神津島観光協会と協力して広く島の魅力を発信させ、観光振興対策を図っていくということ、11月より採用する。また、来年度実施を予定している学童保育の支援に2名を配置するような考えている。



第2回臨時会

◎議案第46号「村道14号線道路改修工事請負契約」

6番 夏季の8月9月が工期の中に入っているのかどうか。建設課長 夏の繁忙期は通行止めはしない。

《原案可決》

第3回臨時会

◎議案第56号「新清掃センター整備に係る測量・地質・設計等業務委託請負契約の変更」

《原案可決》

平成27年度議員自主研修

10月22日～25日の日程で議員自主研修が行われ、今年度は北海道増毛町を訪問し、町役場表敬訪問の後、藻場再生事業の現場視察及び増毛町漁業協同組合合議室での事業説明・質疑応答が行われた。

議会コラム

2番 鈴木国忠議員

盛んだった地産・地消

多くの尊い命が犠牲になった太平洋戦争、昭和20年8月の終結から70年目の8月15日、この日広島や長崎に続き本村に於いても戦没者・戦災犠牲者の御遺族や来賓各位が出席し、瀧響寺境内慰霊碑の御前にて、慰霊祭が執り行われました。副住職による読経の中、尊霊に対し出席者全員献花が行われ追悼の誠を捧げました。昭和19年生まれの方は、時代を戦前、戦後に分けるとすると、最後の戦前生まれです。戦後、暫くはみんな貧しく、その日暮らして明け暮れていました。それでも、ここ神津島では、米(陸稲)や麦、粟や稗、イモなど五穀の他、苗場(庭)では、キヌワリやトマト、茄子や大根、里芋、ジャガイモ、トウモロコシ等々野菜も結構自給していました。終戦直後から昭和30年代頃までは、農繁期になると小学校も中学校も一週間程度休みになり、文字通り家族の働き手として労働に参加していました。農協では精米や脱穀・製粉もしていたし、自家製の味噌を作り、椿油の製油所もありました。天草口開け同様に山も(椿採)口開け制になっていました。椿実の皮や油粕は肥料として再利用していたし、焼酎も地元産の薩摩芋で、醸造時期になると酒粕の臭いで辺りはブンブンしていた、子供心に飲んだ気分になったものです。酒粕の一部はこれも肉質が良くなるとして出荷豚の餌に再活用したりしていました。乳牛も飼育され農協では牛乳からバターも作られ販売されていて、鶏は大抵この家でも飼っていました。また、モクク(海藻)などは競って集め、道路や空き地に天日干しして、肥料として再利用しました。島中ですから量的には相当なものだったと思います。海藻や海藻も豊富でしたし、言うまでもなく魚の種類も多く長沢や長浜沖では、岩礁魚のカサゴなどの見釣りができた程です。台風や時化の後には、魚や海藻が海岸に寄って来たものです。島外者が、海岸に打ち上げられた魚を拾って悦び勇んでいると、「そんな寄りモノを」と言われ馬鹿にされた話が書かれた本もあるくらいです。夜磯に行くとき足下でエビがバシバシやっていた程だったなどの話もあります。また、観音浦や沢尻の小川には川うなぎ(鰻)がいて捕まえた話を聞いたりもしました。

要するに、かつてはそれほどに資源豊であり、自給自足を可能ならしめていた事を物語っていると言えます。モノづくりが課題ともなっている昨今ですが、再利用、再活用をするなど、リサイクルされ、所謂地産地消が盛んに行われていました。決して充ち満ちていたとは言えませんが、ある意味、メンタル的には贅沢な良き時代であったと言えるのかも知れません。活発な復興経済を背景に、戦後のベビーブームと言われた中、昭和22～24年生まれは日本全国多数を占め、後に団塊世代と称されるようになりました。先人の英知とバイタリティーに改めて敬意を表すると同時に感慨深い思いです。

議会日誌

Table with 2 columns: Date (e.g., 平成27年6月9日) and Meeting Content (e.g., 平成27年第2回例会(9日閉会)).

編集後記

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道付近で吹いている北東貿易風が弱まることにより、太平洋赤道域の中部から南米のペルー沖にかけての広い海域で、海面水温が平年に比べて高くなる現象である。エルニーニョ現象が発生すると世界中で異常な天候が起こるとされています。現在エルニーニョが発生していますが、気象庁の発表によるとエルニーニョ現象は来春まで続く可能性が高いと発表されています。一般的にエルニーニョ現象が発生すると冬は暖冬傾向になると言われています。今冬はどうなるでしょうか。

さて、9月の定例議会でブロードバンド(インターネットの高速大容量回線)サービスについての説明が行政(村)からありました。ダンボのみみに12歳の小学生がニコニコ動画が途中で止まるので、光回線にできればしてくださいとの投書がありました。確かに現在の電話回線を使ってインターネットに接続するADSLではインターネットの通信速度が遅く、時間帯や状況によって速度が大きく変化して困惑する場合があります。光回線は距離や外的要因による影響を受けず、安定した速度を維持し続けることができます。

光ケーブルは現在、本土・大島・三宅島・八丈島に敷設されています。神津島村や村議会では今日に至るまで国や都に光ケーブル敷設の願いをしてきました。H28年度に三宅島・御蔵島・神津島の光ケーブル敷設が予定されていますので、近い将来、神津島の各家庭でも光回線のインターネット接続が可能になるでしょう。

「議会だより」編集委員会一同

- 委員長 中村 親夫
副委員長 山岸 義光
委員 鈴木 国忠
委員 清水 勝彦